

令和元年度 第1回富士見町総合教育会議 議事録

日 時 令和2年3月11日(水) 午前11時00分～午後12時05分
場 所 役場3階 応接室
出席者 町長 名取重治 教育長 脇坂隆夫
教育委員 鈴木清 伊藤成八 小林俊一 吉川満美
子ども課長(植松高光) 生涯学習課長(平出裕一)
総務学校教育係長(小池美咲) 記録者(矢崎)

1. 開 会

〈小池総務学校教育係長〉

これより第1回富士見町総合教育会議を始めます。よろしくお願ひいたします。

〈名取重治町長〉

コロナウイルス対応等で慌ただしく不安な日々ですが、教育委員さんにもご協力をいただいております。今日はよろしくお願ひいたします。

2. 確認事項

- (1) 富士見町総合教育会議設置要綱について
- (2) 富士見町総合教育会議の公開について

3. 協 議

- (1) 諏訪地域の高校の将来像を考える協議会について

・県下各ブロックごとに県は協議会の設置を働きかけ、すでに答申案を公表しているブロックもある。

県の要請に基づき、諏訪地域においても昨年、協議会が設置された。

協議会とその事務を支える幹事会の2本立てで運営されている。

今年の秋を目標に結論を出していきたい。

・既に3回開かれたが、これまでの協議会では、管内の県立高校の学校長がそれぞれプレゼンテーションを行ったり、産業界からの意見を各市町村が取りまとめて、協議会で報告をしたりしている。

県外、域外への優秀な生徒の流出が多いので、立て直したい。

高校は人間形成として大切な場所であるし、ふるさとを大切に、愛する思いを育ててほしい。という意見等があった。

・今後はPTAや生徒の意見も集約しながら、協議会の意見を取りまとめていきたい。各方面から出された意見の中から、共通点を見出し、それをまとめ上げる。

・地域懇談会が3市を会場に今後、3回開催される。

(2) GIGA スクール構想について

〈小池総務学校教育係長〉

・国が環境整備5ヵ年計画を立てた。(2018年度から2022年度)

富士見町も小中学校のICT環境を整備してきた。

小学校は平成29年度に、中学校は令和元年度に整備。パソコン、大型提示装置等(プロジェクタ・電子黒板等)

自治体で3クラスに1クラス分の端末を整備する計画で、今まで整備してきた。財源は地方交付税で措置。さらに、ICT環境整備の抜本的充実を図るため、ハード整備の予算措置を令和元年12月、国が行った。これを受け、来年度(令和2年度)、校内LAN工事を行い、ネットワーク整備を行う予定。(国1/2補助で工事する。)

並行してタブレットの整備も進めていく。(1/3交付税、2/3補助金)

1人1台端末に近づけていく。

〈教育長〉

【資料を基に、学校におけるICTを活用した学習場面、授業の展開例を説明】

〈小林教育委員〉

教育のICT化は必要でありながらも、危惧もしている。

授業が変わってしまうのではないか、こういう学びで良いのか、という思いがある。主体的、対話的で深い学びにつながるのか。人と人との学びなので、それを失っていかないようにしたい。

〈教育長〉

<活用の仕方>が大切。うまく活用できれば可能性はある。

〈鈴木教育委員〉

数学などは使いやすいと思う。

〈町長〉

先生方の教育はどうしていくのか。

〈教育長〉

現在も国語はデジタル教科書などを使用しているし、来年度の新しい教科書はQRコードも付いていて、その単元の資料などが見れるようになっている。県の研修等も考えている。長けている先生方から習得していく。とにかく慣れていくしかない。

(3) 町内児童生徒及び要配慮児童生徒の実態について(非公開)

(4) その他

新型コロナウイルス感染症抑止対策について

・入園、入学式等の対応、その決定時期について、保護者や関係者への周知について等

午後12時05分終了